



テニス 本村くんが 全国大会へ

8月の九州大会で見事優勝し、全国大会への切符を手に入れた本村凌雅くん(有家小4年)が市長を訪問しました。

本村くんは来年2月の全国大会に向けて「1試合でも多く勝てるようがんばります」と抱負を話しました。健闘を祈ります。

いつまでもお元気で ～106歳 市内最高齢～



藤田 キワノさん(有家町)
明治44年5月6日生まれ

いつまでもお元気で ～100歳おめでとうございます～



伊藤 アキノさん(西有家町)
大正6年10月1日生まれ



国体出場のアスリートを激励

9月から10月にかけて、愛媛県で開催される第72回国民体育大会と第17回全国障害者スポーツ大会に出場する南島原市選手団の壮行会を開催しました。

●第72回国民体育大会 出場選手

高木 駿一選手(陸上)	森北 詩音選手(陸上)
野田 賢人選手(バレー)	松坂 誠應選手(レスリング)
水田 長兵選手(セーリング)	堀田 拓郎選手(ソフト)
伊藤 唯斗選手(ソフト)	菅 朋夢選手(ソフト)
森永 将司選手(ソフト)	沼田 優作選手(ソフト)
隈部 琉一選手(ソフト)	中村 要平支援コーチ(空手)
宮川 源太選手(空手)	林田 真一郎選手(ボウリング)

●第17回全国障害者スポーツ大会 出場選手

松尾 誠選手(フライングディスク) 植松 信介選手(バレー)



駐福岡韓国総領事と歩くオルレ

「九州オルレ南島原コース」は、オープン以来、たくさんの人に楽しんでいただいています。

9月9日、駐福岡大韓民国総領事を招いてオルレイベントを行い、韓国からの参加者も含め、約220人が心地良い汗を流しました。

今回は、オルレ川柳の表彰式や韓国の伝統楽器の演奏、ムクゲの木の植樹など、日韓の交流を深めるものとなりました。



「食」と「職」を知るイベントにぎわう

9月10日、南島原市の「食」と「職」を知るイベント「しょくシル in 南島原」が赤い屋根のふるさと交流館(旧山口小学校)で開催され、県内外から約500人が訪れました。

本イベントは、地域の異業種の若手事業者が収益性を高めようと今春、立ち上がった任意団体「A-flip」が企画したもので、今回は事業者と学生が連携して商品やサービスの企画提案・体験を行うことで、事業者の認知度向上や地域活性化などを図ることを狙いとしたものです。当日は木造校舎の懐かしい雰囲気の中、長い廊下を走り回る子どもたちの姿や、個性豊かなブースを楽しむ来場者の姿が見られ、地域の可能性を知ることができるイベントとなりました。



北有馬中でポルトガルとの 中継授業

9月28日、北有馬中学校でポルトガルとのライブ中継による授業が行われました。戦国時代、南蛮文化が栄えた南島原市。小さな町の郷土史から一挙に国際交流へ展開ができるのも400年前、いち早く世界に目を向けていた有馬の住民のおかげです。生徒たちはポルトガルからの中継に興味津々の様子でした。今回の模様は、北有馬中学校の文化祭で全校生徒と保護者に発表しました。

Focus in 南島原 まちの話題



九州電力さんが 西望公園を清掃

10月11日、九州電力株式会社島原営業所(小川末記所長ほか9人)の皆さんが、高所作業車を利用して西望公園内の高木の剪定や草刈りなどの清掃活動を行われました。

これは、同社の地域貢献活動の一環として行われているもので、4回目となります。おかげさまで「西望公園」が大変きれいな姿になりました。九州電力社員の皆さん本当にありがとうございました。



続く 心の交流

本市では、子どもたちが東日本大震災被災地でのボランティア活動や復興支援を行うことで、本人や市の将来について考える契機とし、未来を担う人材を育成することを目的に「心のふるさと交流事業」を行っています。

9月13日、8月下旬に宮城県南三陸町を訪問した参加者24人のうち8人が市長に交流の様子を報告しました。大野木場小学校在学中から交流事業に参加している福島千景さん(深江中3年)は小学5年生時から南三陸町の生徒と手紙のやりとりをするなど、まさに心の交流を続けています。